

《第60回》平成三十年三月の作品

〈三月九日（金） 於文京シビックセンター〉

5階D会議室〈

水溜り選んで歩く子らに春

（奉男）

雛を折る童の指のしなやかさ

（平六）

春雷に夢破られし仮寝かな

（孝昭）

卓袱台にお手玉三つあたたかし

（一江）

荃立や雨に濡れたる道祖神

（隆治）

兜太氏の平和を守れ春の雷

（貴美）

二月尽俳句弾圧不忘の碑

（芙沙）

白雄寄りし今白梅の戸倉宿

（正佳）

クレーン立つ空地の空や犬ふぐり

（正雄）

寝ねし児の頬に一粒雛あられ

（前歩）

その昔観梅先づは曾我・越生

（清助）